

## 腰塚武志先生のご講演

講演タイトル：人的交流を支える都市空間の構造

### 講演要旨

講演者はこれまで都市空間の数理的特性の解明に向けた基礎研究・応用研究を行ってきた。その多くは、いわゆる応用数学的な方法論に加えて、特に幾何学的確率論ならびに積分幾何学に立脚したものであるが、得られた一連の結果は、高度な数学的展開を抜きにしても興味深く味わえるものが多い。今回は、そうした研究成果の中から、都市空間に分散して存在する人と集客性をもった施設との関係、ならびに人間同士の相互交流の関係を俎上にのせる。そして、そうした行き来の量が都市空間の大きさ・形状ならびに背景となる交通インフラストラクチャーの状況から如何なる影響を受けるのか、ということに焦点を当てた講演を行う予定である。

今回のシンポジウムは数理的な都市研究と社会的な都市研究のコラボレーション、というテーマを伴っている。紹介申し上げる研究成果の中には、社会的な見地から解釈し、あるいは応用することが可能な部分が含まれているかもしれない。そのような観点から、難解な数式の展開はなるべく避けて、その心意（こころ）が伝わるべくお話する予定である。

### プロフィール

腰塚武志（こしづか たけし）

1944年生まれ。1966年東京大学工学部都市工学科卒業，1969年東京大学大学院工学系研究科博士課程都市工学専攻中途退学 工学博士（東京大学）。東京大学助手工学部，筑波大学助教授社会工学系，筑波大学教授社会工学系，元筑波大学副学長を経て，2009年4月より南山大学情報理工学部教授，2012年より日本オペレーションズ・リサーチ学会会長。

受賞歴：日本オペレーションズ・リサーチ学会業績賞(2003年)，日本都市計画学会石川賞(2009年)ほか。専門は，都市工学，都市のオペレーションズ・リサーチ。